

事業所名 ふぁんたす

## 支援プログラム（参考様式）

作成日

2025年

1月

9日

法人（事業所）理念	利用する人たちの意向を尊重し、個人の尊厳を保持しつつ、心身ともに健やかに育成され、その有する能力に応じ自立した日常生活を地域社会において営むことができるよう様々な嬉しいサービスを提供する。		
支援方針	子どもたちが心身ともに健やかに成長発達でき、また、現在から将来にわたって、社会の中で、豊かで楽しく安定した生活が営めるようになることを目指して、グループ活動や、個別活動を通して、様々な経験を積みながら日常生活や社会生活の力を身に付けられるように必要な支援を行っていく。子どもたちが、「楽しい」「やってみたい」と思える活動を提供しながら「できた」「やった」と達成感や満足感を得られるようにスタッフも一緒に楽しみながら支援する。保護者と成長の喜びを共有しながら気持ちに寄り添う支援をしていく。		
営業時間	平日 10時30分から 18時30分まで 学校休業日 9時00分から 17時00分まで	送迎実施の有無	あり 要相談（対応できない場合があります）
支 援 内 容			
本人支援	健康・生活	体調管理に気を配り、自分の体調や衣服調節などを気かけられるように支援する。食事や睡眠、身だしなみや清潔にすることなどの大切さを教え、生活に必要な基本的技能を身に付けられるよう支援する。登降時の身支度や荷物整理、忘れ物がないかの確認などについて、視覚支援や声掛けなど自分でできるようになるための支援を行う。買い物活動で、商品を選んで買い物する経験を積み、店内でのマナーも身に付けながら自分で買い物ができるように支援する。クッキング活動で、調理や片付けの経験を積み、食に興味を持ち、道具の使い方に慣れ、自分で料理ができるようになるなど、生活の力を育む。	
	運動・感覚	姿勢保持や日常生活動作などに気を配り、筋力の強化や体の動かし方を意識した運動プログラムを提供し、声かけや身体プロンプトなどにより、自分の体を意識して姿勢保持や調整ができるように支援する。体を動かすことが、楽しいと思えるような運動遊びの活動を提供し、達成感や満足感を味わいながらしっかりと体を動かす経験を繰り返し積み、運動習慣を身に付け、体力や筋力の向上を目指す。保有する感覚（視覚、聴覚、固有覚、触覚、前庭覚）を十分に活用できるように運動や遊びの中で様々な活動を取り入れて提供する。感覚の特性への配慮をする。	
	認知・行動	理解力に合わせた認知機能トレーニングや学習課題の提供と支援により、認知機能の発達を促す。認知や行動の手掛かりとなる概念、物の機能や属性、色、形、大小、数、時間などの理解を促すための支援を行う。感覚や認知の偏りなどによる不適切行動や不安、ストレスなどに対して、ストレス軽減の方法や物事の捉え方や受け止め方について、心理士の個別支援や実際の場面での対応により、学んだり一緒に考えたりすることで安定して過ごせるように支援する。選択や決定の機会や小集団の中で話し合ったり、意見を言ったり受け止めたりする機会を設け、自己選択や自己決定の力を育み、自己主張や相手の意見を受け止める等の経験を積むことで集団の中で適切に行動する力を育む。また、自分の思いを態度で示すのではなく、整理して相手に伝えることができるよう支援する。	
	言語コミュニケーション	言葉でのコミュニケーションだけでなく、表情や身振り、指さし、サイン、絵カードなども用いながら、円滑な意思伝達ができるように支援する。コミュニケーションを取ることで、自分の要求や思いが伝わり叶えられる経験を積み、他者とのコミュニケーションが、楽しく、有益に感じられるように支援する。友だちやスタッフと一緒に遊んだり、小集団で共同作業をしたりする中で、コミュニケーションの機会を持ち、人と関わることの面白さや気遣いなどを体験しながら、コミュニケーションスキルを育めるように支援する。言語理解や読み書き能力、語彙数を増やすための支援を行う。自分の意見を適切に伝える力を育むために、スタッフや子ども同士で自分の思いや意見を伝えることができる関係性を築き、言語以外の手段も提供する中で、思いを代弁したり、伝え方をたりなどの支援をする。	
	人間関係社会性	友だちと一緒に過ごす中で、自分の思いを伝えたり、相手の話を聞いたりする機会を持ち、それをサポートしながら、対人関係のスキルが身につくように支援する。心理士の個別支援の中で対人関係のソーシャルスキルや世の中のルールやマナーを学ぶ機会を持ったり、活動の中でルールや約束などを事前に知らせたりする中で、実際の場面ですれらを意識して行動できるように配慮し、経験を積むことでスキルが身につくように支援する。グループ活動の中でチームワークやリーダーシップを意識した取り組みを行い、子ども同士の主体的な関わりを重視ながら、状況を見たり、相手のことを考えたりした言動ができるように支援する。	
家族支援	本人や家族の悩みや不安を共有し、適切な情報提供や相談援助を行う。子どもの特性や特性を踏まえた関わり方、兄弟児を含めた子育てについての悩みなどに関して相談援助を行う。子どもの成長、発達を共有し、共感し合うことで喜びが感じられるように支援する、送迎や延長支援により保護者負担を軽減する。	移行支援	地域社会との接点を増やし、公共施設等の利用機会を設け、その場に応じた適切な対応ができるよう支援する。自立に向け、適切に助けを求めるスキルや自分で判断し行動する力を養うための支援を行う。進路の選択肢を広げる情報提供を行う。
地域支援・地域連携	学校や他の放課後等デイサービス、その他関係機関等と連携して、適切な支援の提供ができるよう、情報共有し、環境設定や支援方法などを一緒に考えて行く。	職員の質の向上	障がい特性や支援方法、心理、発達などに関する知識を深めるための研修の情報や参加機会を提供する。救命救急、虐待防止などの研修を計画的に実施する。日々の業務や支援での情報や課題を共有し、意見交換の環境を整えてチーム全体の質の向上を目指す。
主な行事等	長期休暇中の活動として、外食や社会見学、プール、自然体験などの外出活動、昼食クッキング、季節活動としてもちつき、凧あげなどを計画を立てて行っている。学校の振替休日などの少人数での活動として、公共交通機関の利用や外食、買い物、公園遊び等を行っている。買い物、公園遊び、おやつクッキングは日常活動としても行っている。		